

平成11年度PRTRパイロット事業の実施に関するアンケート

PRTRパイロット事業にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。  
このアンケートは、PRTRの実施にあたっての課題を整理し、法律に基づくPRTR制度の実施の際の参考資料とすることを目的としております。ご多忙のところ恐縮ですが、PRTR調査票（報告様式1及び2A、2B）にご回答後、以下の設問にお答えいただき、調査票とあわせてご提出下さい。（選択肢のある問いについては、該当する番号に○印を付けて下さい。）

事業所名	※
------	---

※印欄は、調査機関（都道府県市）において記入する欄ですので、何も記入しない下さい。

1. マニュアル等の内容

(1) 今回の調査でお配りした「推計マニュアル」を使いましたか。

- 1. 「推計マニュアル」を使った。 → (2)へお進み下さい。
- 2. 業界団体などの別のマニュアルを使ったので、「推計マニュアル」は使わなかった。 → (4)へお進み下さい。
- 3. 特に参考にしなかった → (4)へお進み下さい。

(2) 「推計マニュアル」について、どのように感じましたか。

- 1. 非常に分かりやすい
- 2. 分かりやすい
- 3. どちらとも言えない
- 4. 分かりにくい
- 5. 非常に分かりにくい

(3) 「推計マニュアル」の第2部について、使った項目はどれですか。以下の使った項目の番号に○をつけて下さい。また、使ったそれぞれの項目について、どのように感じましたか。下の該当する数字をそれぞれ( ) に記入して下さい。

- 1. 非常に分かりやすい
- 2. 分かりやすい
- 3. どちらとも言えない
- 4. 非常に分かりにくい
- 5. 非常に分かりにくい

- 1. 1.1 排出・移動量算定の手順 ( )
- 2. 1.2 取扱対象化学物質の確定及び取扱方法の特定 ( )
- 3. 2.1 環境への排出ポイント等の把握 ( )
- 4. 2.2.1 貯蔵工程における排出・移動量算定方法の例 ( )
- 5. 2.2.2 移送・分配・秤量工程における排出・移動量算定方法の例 ( )
- 6. 2.2.3 機械加工工程における排出・移動量算定方法の例 ( )
- 7. 2.2.4 混合工程における排出・移動量算定方法の例 ( )
- 8. 2.2.5 熱処理・熱加工工程における排出・移動量算定方法の例 ( )
- 9. 2.2.6 化学反応工程における排出・移動量算定方法の例 ( )
- 10. 2.2.7 脱脂・洗浄工程における排出・移動量算定方法の例 ( )
- 11. 2.2.8 分離・精製工程における排出・移動量算定方法の例 ( )
- 12. 2.2.9 組立・検査工程における排出・移動量算定方法の例 ( )
- 13. 2.2.10 包装・荷詰工程における排出・移動量算定方法の例 ( )
- 14. 2.2.11 排ガス・排水処理・廃棄物処理工程における排出・移動量算定方法の例 ( )
- 15. 3.1 洗濯業 ( )
- 16. 3.2 木材・木製品製造業、金属製品製造業、総合工業等—塗装工程— ( )
- 17. 3.3 出版・印刷・同関連産業等—印刷工程— ( )
- 18. 3.4 繊維工業等—染色・漂白工程— ( )
- 19. 3.5 金属製品製造業、電気機械器具製造業等—脱脂・洗浄工程— ( )
- 20. 3.6 金属製品製造業等—メッキ工程— ( )
- 21. 3.7 廃棄物処理業 ( )

(4) (1)で2又は3を回答した方) 「推計マニュアル」を使わなかった理由は何ですか。

- 1. 他のマニュアルの方が有用な方法を記載していた
- 2. 「推計マニュアル」は難しい、または他のマニュアルの方がわかりやすい
- 3. マニュアルを使用しなくても推計できる
- 4. 実測値を用いたので推計しなかった
- 5. その他 ( )

(5) 「推計マニュアル」第2部で、わかりにくい部分や改善等が必要な部分がありましたら、上の間の該当する部分の番号とその理由とをあらわして記入して下さい。

(番号)	:	理由	( )
(番号)	:	理由	( )
(番号)	:	理由	( )

(6) 「推計マニュアル」のQ&Aは参考にになりましたか。

- 1. 参考になった
- 2. 知りたい項目がなかった
- 3. 参考にしなかった

(7) 第2部の他、「推計マニュアル」の中で、分かりにくい部分や改善等が必要な部分がありましたら、別表1の「推計マニュアルに関するコード表」から主要な項目を3つ以内で選び、その理由とあわせて記入して下さい。

コード	(1)	理由:	( )
	(2)	理由:	( )
	(3)	理由:	( )

(8) 排出量・移動量の算定にあたり、よく分からなかった点や、今後の「推計マニュアル」へ追加してほしい内容があれば、記入して下さい。

(9) 今回の調査で、「推計マニュアル」と一緒にお配りした「記入要領」等の資料について、どのように感じましたか。

- 1. 非常に分かりやすい
- 2. 分かりやすい
- 3. どちらとも言えない
- 4. 非常に分かりにくい
- 5. 非常に分かりにくい
- 6. 使わなかった

(10) 「記入要領」等の資料の中で、分かりにくい部分や改善等が必要な部分がありましたら、別表2の「記入要領等の資料に関するコード表」から主要な項目を3つ以内で選び、その理由とあわせて記入して下さい。

コード	(1)	理由:	( )
	(2)	理由:	( )
	(3)	理由:	( )

## 2. 排出、移動量等の把握

化学物質の環境中への排出量、廃棄物に含まれるの移動量等の推計において、雑し  
かったり、時間がかかった化学物質名(非意図的生成物質を含む。調査票の整理番号  
でも結構です。)及びその排出、移動等の区分について、理由とあわせて記入して下  
さい。

化学物質名 又は 整理番号	排出、移動等の 区分(①~⑦) (複数回答可)	理 由

注) 排出 : ①大気、②公共用水域、③公共下水道、④土壌  
移動等 : ⑤廃棄物の外部委託、⑥自ら行う埋立処分、⑦リサイクル

## 3. 作業及び費用の負担

(1) 今回の調査において、作業に関与した人数は何人でしたか。(アルバイト等は含みま  
すが、外注先の分は除いて下さい。)

( ) 人

(2) 今回の調査において、作業に要した延べ人日(人数×1日の平均的な勤務時間で換  
算した日数)は何人日くらいでしたか。(アルバイト等は含みますが、外注先の分は  
除いて下さい。)

( ) 人日

(3) 今回の調査において、作業に最も多くの時間を要したところはどこですか。

1. 取扱品等に含まれる化学物質の調査
2. 対象化学物質の報告の必要性の判定
3. 排出・移動量の算定
4. 報告様式の作成
5. その他( )

(4) 今回の調査において、分析作業の外注など外部業者の関与がありましたか。

1. あった
2. なかった

(5) 今回の調査のために、貴事業所が費用負担をした項目及びその額について記  
入して下さい。

- |  |       |
|--|-------|
| ①分析費(分析試薬・機器等の購入費、外注費等)  | ( ) 円 |
| ②人件費(通常雇用されている人の分<br>今回の調査のために新規に雇用した人の分<br>*作業に要した人日×単価で計算して下さい。) | ( ) 円 |
| ③その他(具体的に:   | ( ) 円 |
| 合計   | ( ) 円 |

(6) 昨年度の「良好環境づくりプロジェクト事業」(岐阜県の場合は「平成10年度岐阜県環境化学物質使用・排  
出改善事業」)にご協力いただいた事業所のみご回答下さい。  
昨年度の調査に比べて、今回の調査の作業量や負担感はどうでしたか。また、負担感  
に変化があった場合、その理由を具体的に記入して下さい。

1. かなり負担が軽くなった
2. 多少負担が軽くなった
3. あまり変わらない
4. 多少負担が重くなった
5. かなり負担が重くなった

負担が「軽くなった」又は「重くなった」作業の内容

( )

負担感が「軽くなった」又は「重くなった」理由

( )

## 4. 支援方策

(1) 実施機関(岐阜県市)が主催した記入説明会の案内があった事業所のみご回答下さい。  
記入説明会に参加しましたか。

1. 参加した(会場: )
2. 参加しなかった

(2) 上記(1)で1に該当する場合、その内容についてどのような感じでしたか。また、改善  
すべきと思う点がありましたら、具体的に記入して下さい。

1. 非常に良かった
2. 良かった
3. 普通
4. 良くなかった
5. 非常に良くなかった

改善すべき点( )

(3) 今回の調査において、貴事業所で算定方法等の技術的な疑問点や問題点が生じた場合、  
どこに問い合わせましたか。該当する番号に○をつけて下さい(3つ以内)。

1. 実施機関(都道府県市)
2. 原料・資材等の製造メーカー、団体
3. 原料・資材等の販売会社、商社
4. 施設や設備等のプラントメーカー
5. 親会社、下請会社等の関連会社
6. 個人的な知り合い
7. その他( )

(4) 上記(3)において1に該当する場合、実施機関(都道府県市)に問い合わせ、技術的な  
疑問点や問題点は解決しましたか。

1. すぐに解決した
2. 時間がかかったが解決した
3. 一部解決しなかった
4. 全く解決しなかった

また、上記設問で3及び4に該当する場合は、解決しなかった内容及び理由を記入  
して下さい。

内容・理由( )

(5) P R T R の実施にあたって、今後国や地方自治体にどのような支援を望みますか。該当する番号全てに○をつけて下さい。

【化学物質の排出量・移動量の報告について】

1. 算出方法や届出方法などについてのマニュアルの充実
  2. 算出方法や届出方法についての説明会、研修会の開催
  3. 技術的な相談窓口の設置
  4. 対象物質に関するMSD S義務づけの早期実施
- 【P R T R データの公表・利用について】
5. 化学物質の有害性などのデータベースの整備
  6. 利用しやすい形態でのデータの公表
  7. 公表データの読み方についての説明会や研修会の開催
  8. 事業者と地域住民とのコミュニケーションを円滑に進めるためのマニュアル等の整備
  9. 事業者と地域住民とのコミュニケーションを円滑に進めるための場所の設定や専門家の育成

【その他】

10. 事業者のための化学物質管理マニュアルの整備
11. 化学物質の管理についての説明会、研修会の開催
12. その他 ( )

5. 情報提供

(1) 今回のパイロット事業では、昨年度と同様に、各事業者から報告された個別情報は、公表の対象としないことを前提に、排出量等の集計を行い適切な情報として整備した上で情報提供することとしてしておりますが、個別事業所のデータとして公表していただくことも、地域別や業種グループ別に細分化するなど、集計の方法によっては、個別事業所のデータが特定される可能性があります。このことについて、どのように考えていますか。

1. 業種や所在している地域から個別事業所の排出量データが特定されるのは困るので、昨年度のように公表の際に特定されないような工夫をしてほしい。
2. 事業所名が公表されなければ、業種や所在している地域から個別事業所の排出量データが特定されなくても構わない。
3. 個別事業所の排出量データの公表は構わない。
4. わからない

(2) 営業秘密の定義は、P R T R 法においては、不正競争防止法と同様に、

- ・秘密として管理されている (秘密性)
- ・事業活動に有用な技術上の情報である (有用性)
- ・公然と知られていない (非公知性)

とされ、届出情報がこれに該当する場合は、公表等の際の物質名を「対応化学物質分類名」に置き換えるように主務大臣に請求することになっていきます。

① このことをご存じでしたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

② 今回の調査で排出量・移動量を報告された物質の中に、貴事業所にとって上記定義を満たす「企業秘密」に該当すると考えられるものが含まれていますか。

1. 含まれている
2. 含まれていない

6. 事業所における化学物質の管理

(1) 貴事業所では、P R T R の実施 (排出量・移動量の把握) と相まって、化学物質の管理の改善や排出量の削減のために行ったことはありますか。

1. 体制の整備
2. 設備の改善
3. 汚染物質処理施設の導入
4. 工程の見直し
5. 原材料の変更
6. 従業員の教育
7. その他 ( )

7. P R T R 法について

(1) 「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(P R T R 法) が本年7月に成立し、この法律に基づくP R T R が平成13年度から実施されますが、この法律についてご存じですか。

1. 内容についてよく理解しているが、内容についてはよく知らない。
2. 法律ができたことは知っているが、内容は聞いたことがありますが、法律ができたことは知らなかった。
3. P R T R やMSD Sが義務化されることは聞いたことがありますが、法律ができたことは知らなかった。
4. 何も知らなかった。

(2) P R T R 法の内容について何からお知りになりましたか。最も有用だったもの一つに○をつけて下さい。

1. 新聞
2. 雑誌
3. テレビ
4. 業界団体からの情報
5. 環境庁・通産省主催のP R T R 法全国説明会
6. 地方自治体主催の説明会等
7. 中小企業事業団や日本化学工業協会などの説明会、セミナー等
8. インターネット (環境庁、日化協などのホームページ等)
9. その他 ( )

8. その他

(1) 今回のP R T R パイロット事業や法に基づくP R T R の実施に関して、ご意見がありましたら、記入して下さい。

ご協力ありがとうございました。

別表1 推計マニユアルに関するコード表

コード	項 目
	第1部 PRTRパイロット事業の概説
A1	1. 報告対象有害化学物質及び対象事業所等
A2	2. 報告に必要な情報
	第2部 排出・移動量算定手法
	参考資料
C01	本マニユアルで使用している用語の定義
C02	報告様式1, 2A及び2Bの記入例
C03	製品安全データシート(MSDS)の例
C04	別表1 業種別の主な使用薬剤・原料等
C05	別表2 業種別の主な使用薬剤・原料等に含まれる対象化学物質
C06	別表3-1 対象化学物質一覧表
C07	別表3-2 物質群構成化学物質
C08	別表3-3 石油系燃料及び潤滑油中の対象化学物質
C09	別表4 化学物質に係わる関連業界リスト
C10	別表5 PRTR対象化学物質の物性表
C11	別表6 主要対象化学物質の大気への排出係数
C12	別表7 代表的な排ガス処理施設の除去率と分解無害化率の推算値
C13	別表8 代表的な排水処理施設の除去率と分解無害化率の推算値
C14	別表9 廃棄物処理施設からの排ガス中ダイオキシン類濃度の仮推算値
C15	資料1 廃棄物処理施設排ガスのダイオキシン類TEQ濃度と他の指標との相関
C16	資料2 廃棄物処理施設排ガスのダイオキシン類TEQ濃度推算のためのと簡易測定方法
D	PRTRパイロット事業Q&A集

別表2 記入要領等の資料に関するコード表

コード	項 目
	PRTRパイロット事業の報告様式への記入要領
E1	様式1の記入要領
E2	様式2(2A及び2B)の記入要領
	作業シートを用いた様式2の記入方法
F1	1. 作業シート1(取扱品等組成表)の記入要領
F2	2. 作業シート2(取扱量集計表)の記入要領
F3	3. 作業シート3(排出・移動量算定表)の記入要領
F4	4. 作業シート3から様式2Aへの転記
F5	5. 作業シート4(ダイオキシン類の大気への排出量算定表)の記入要領
F6	6. 作業シート4から様式2Bへの転記
	質問票
G1	PRTRパイロット事業のための成分組成質問票
G2	調査機関(都道府県市)への質問票
	参考資料
H1	表-1 業種別の主な使用薬剤・原料等
H2	表-2 対象化学物質一覧(各グループ毎に五十音順)
H3	表-2の付表(その1) 対象化学物質及び別名の五十音順索引
H4	表-2の付表(その2) 対象化学物質のCAS No. 順索引
H4	表-2の付表(その3) カテゴリ別の対象化学物質
H4	表-3 各単位工程での排出ポイントの例
H5	表-4 金属等換算を行う物質群を構成する主な化学物質の例